

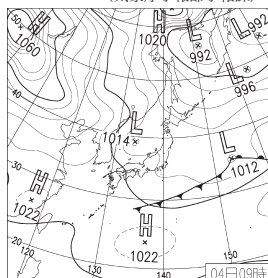
日々の天気図

— No. 168

2016年1月

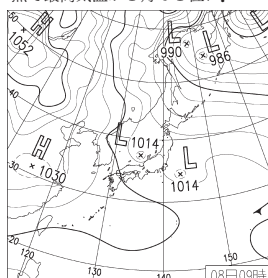
- ・2日, 新潟県佐渡市の漁港で突風。
- ・18日, 関東大雪, 交通ダイヤ混乱。
- ・24日, 沖縄県名護と久米島でみぞれ, 沖縄本島での降雪は史上初, 鹿児島県名瀬では115年ぶりの雪。モンゴル国の Tosontsengel (高地, 1724 m) で海面 (更正) 気圧1095.9 hPa。
- ・29日, 長野県で雨水による倒木。

(気象庁予報部予報課)



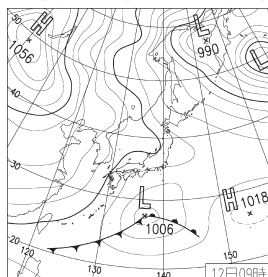
4日(月)またまた春の陽気

沖縄は気圧の谷となり雨。沖縄県城辺55.5 mm/1h。奄美～東日本は概ね晴れたが、北日本は低気圧が通過し雨や雪の降った所多い。全国43地点で最高気温が1月の1位に。



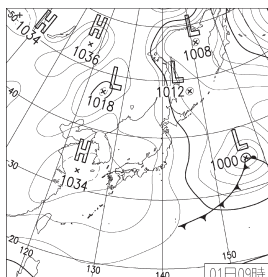
8日(金)冬型続く

北日本の日本海側や北陸で雨や雪。湿った空気が流れ込んだ沖縄は雨で志多阿原37.5 mm/1h など激しい雨。最低気温は全国的に前日より低くなり東京では平年より19日遅い初霜。



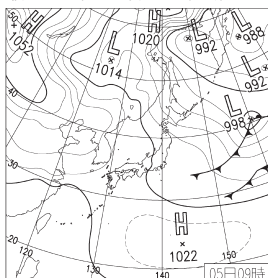
12日(火)横浜と東京で初雪

冬型の気圧配置続く中、寒気がさらに流れ込み関東以北では最高気温が平年以下。北海道の173地点すべてを含む全国の1/4以上の244地点で真冬日。横浜・東京・宇都宮で初雪。



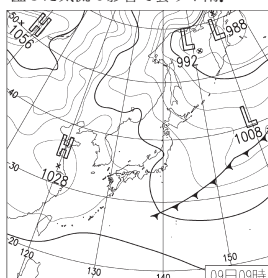
1日(金)穏やかな元旦

日本付近は弱い冬型の気圧配置となり、北陸～北日本日本側では曇りまたは雪や雨、その他は概ね晴れ。松山では平年より1か月遅い初霜、前橋では平年より半月遅い初霜。



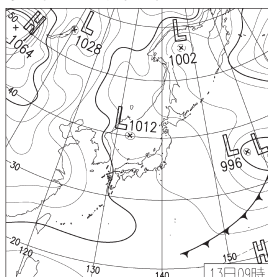
5日(火)北海道日本海側ふぶく

西日本は気圧の谷の影響で曇りや雨。北日本には強い寒気が入り関東～北日本太平洋側は晴れだが北海道日本海側ではふぶく。沖縄・奄美は湿った気流の影響で曇りや雨。



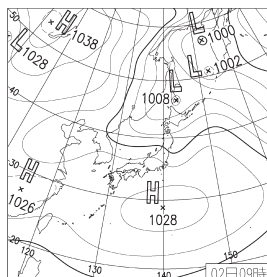
9日(土)冬型西から緩む

沖縄は湿った気流により雨。大陸から高気圧が張り出し、西～北日本は太平洋側を中心に晴れ。日本海側は寒気の影響により雪や雨の降った所多い。奄美で震度4。



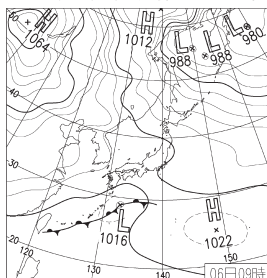
13日(水)東京で今季初の冬日

日本海に低気圧が発生して東北に近づく。日本海側を中心に広く雨や雪。晴れた関東では冷え込み、東京は最低気温-0.9℃の冬日で最も遅い初水。神戸で初雪。



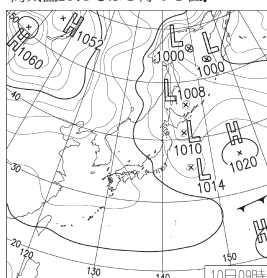
2日(土)全国的に春の気温

気圧の谷が通過した西日本は曇りや雨。東海～関東は晴れ、北陸や北日本は雨や雪。最高気温は全国的に3月中旬～4月上旬並と高く、沖縄県下地は1月の記録を更新する26.3℃。



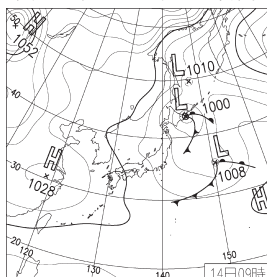
6日(水)気温高め

西日本は雨、東～北日本の日本海側は雨や雪。全国的に朝の最低気温が下がらず3～4月並の所多い。沖縄では日中気温が上がり南大東島の最高気温26.8℃は1月の1位。



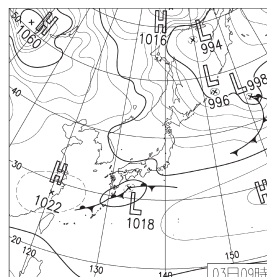
10日(日)東京ウメ開花

北日本を低気圧が通過し北陸～北日本日本海側では雪や雨、西日本太平洋側や東海・関東は晴れ。沖縄・奄美では湿った気流の影響で曇りや雨。東京で平年より16日早くウメ開花。



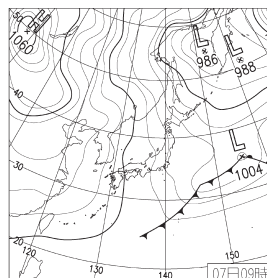
14日(木)北海道など震度5弱

沖縄は湿った気流で雨。西～東日本は冬型の気圧配置となり日本海側で雨や雪。北日本は低気圧の影響もあり太平洋側でも雪。北海道と青森県で震度5弱。



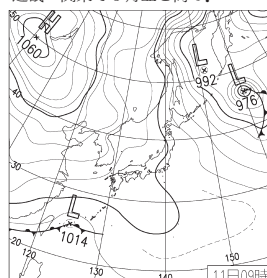
3日(日)全国的に高温続く

低気圧や前線の影響で沖縄と西日本の太平洋側～伊豆諸島にかけて曇りや雨。その他は晴れた所多い。最高気温は全国26地点で1月の1位に。



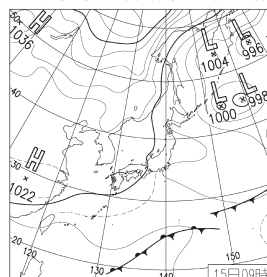
7日(木)北陸は雨

冬型の気圧配置となったが寒気は弱く山陰～北陸は雨、北日本の日本海側で雪。最低気温は全国的に3月中旬～4月上旬並と高く、最高気温は近畿～関東で3月並と高め。



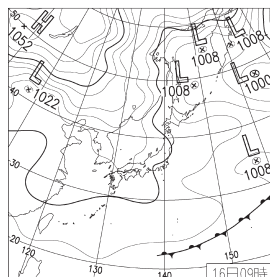
11日(月)北日本中心の冬型

冬型の気圧配置により北陸～北日本日本海側で雪。強い寒気のため北日本では真冬日が多く、北海道はすべての地点が真冬日。前線に近い沖縄と九州南部で雨。青森県で震度5弱。



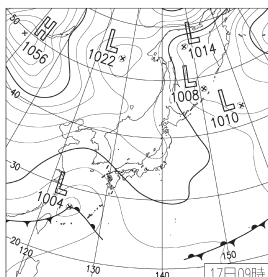
15日(金)北海道で-28.9℃

冬型の気圧配置で北日本は雪。西～東日本の日本海側は雪や雨。沖縄・奄美では湿った気流の影響で曇りや雨。北海道朱鞠内では平年を12.6℃下回る最低気温-28.9℃。岐阜で初雪。



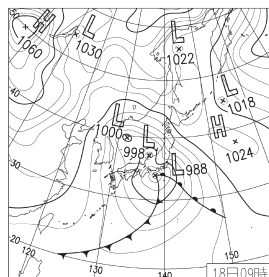
16日(土)北日本に強い寒気

日本付近は北日本中心の冬型の気圧配置。9時の札幌上空約5000mでは-42.4℃(平年-34.8℃)。北陸～北日本日本海側では雪、その他は概ね晴れ。神戸で平年より約1か月遅い初氷。



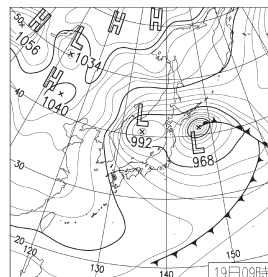
17日(日)沖縄で大雨

低気圧が発達しながら東進し西～東日本で雨。前線近傍では局地的に強雨となり沖縄県仲筋79.5mm/1hなど沖縄県の8地点で1月の1位。北陸～北日本の日本海側は雪。



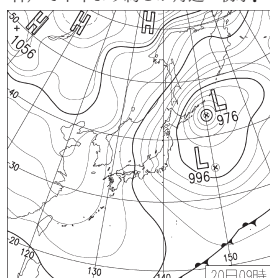
18日(月)関東甲信で大雪

低気圧が本州の南岸を進み、関東甲信では最深積雪が、山梨県河口湖40cm、長野県松本33cm、前橋20cm、熊谷15cm、東京6cmなど大雪に。九州・四国を含む12地点で初雪。



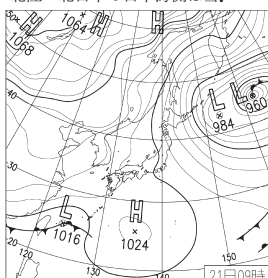
19日(火)各地で大荒れ

急発達した低気圧が北海道東海上へ、西～東日本の日本海側と北日本を中心に大雪。最大瞬間風速がえりも岬で45.1m/sなど全国の所々で30m/s以上に、静岡など7地点で初雪。



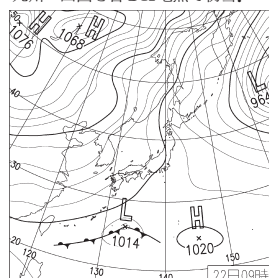
20日(水)風・雪続く

冬型の気圧配置が強まり沿岸部を中心に全国的に強風。日本海側に加え東海でも雪となり名古屋で最深積雪9cm。新潟県津島で最大瞬間風速29.9m/s。宮崎県鰐塚山で初冠雪。



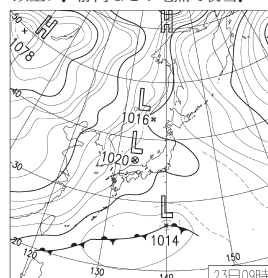
21日(木)西日本で雨域拡大

前線を伴った低気圧の影響で沖縄～九州の所々で雨。千島の東の低気圧により北日本を中心に風が強く、北陸～北日本日本海側は雪。下関で初氷。那覇ではヒカンザクラ開花。



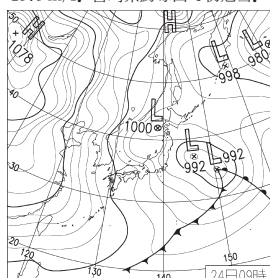
22日(金)冬型の気圧配置強まる

北日本を中心に冬型の気圧配置が強まり、西～北日本の日本海側で雪や雨。鳥取県大山で日降雪量33cm。寒気の影響により本州の日本海側は最高気温が平年より低い。



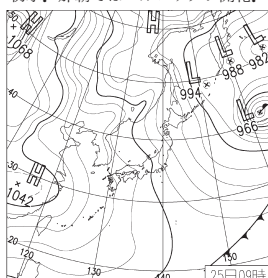
23日(土)沖縄・西日本冬型強まる

西日本だけでなく沖縄も強い寒気の流れ込み始まる。北陸や西日本を中心に雪や雨。風も強まり島根県西郷岬で最大瞬間風速27.8m/s。沖縄県下地で最大風速20.9m/s。



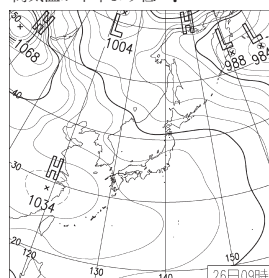
24日(日)沖縄・奄美で降雪

強い寒気流れ込み沖縄・西日本を中心に記録的な低温となり九州の49地点で真冬日。長崎は記録1位の積雪17cm。鹿児島県名瀬115年ぶりの雪。沖縄県名護・久米島でみぞれ。



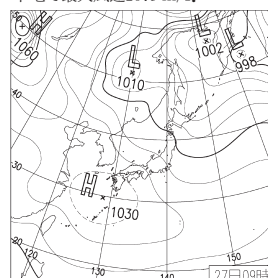
25日(月)記録的な低温続く

強い冬型気圧配置続き、沖縄・九州では多くの地点で最高・最低気温の低い記録1位。北日本や北陸・山陰は雪、九州や西～東日本の太平洋側でも一部で雪。福島県で震度4。



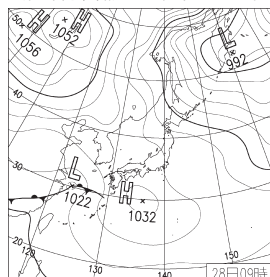
26日(火)冬型の気圧配置緩む

冬型の気圧配置が緩み、北日本や北陸の降雪は弱まる。九州と四国の一部で弱い降水。西～東日本では先日から寒気が残る、平年よりもまだ気温低い。宮崎でウメ開花。



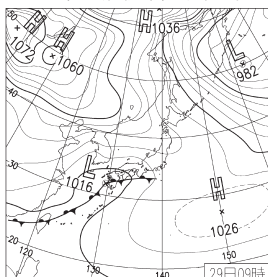
27日(水)寒さやわらぐ

朝の最低気温は晴れた東海や関東などを除き平年より高く、北日本は3月中旬～4月上旬並。日中の最高気温は全国的に平年より高く、関東では3月並まで上昇。



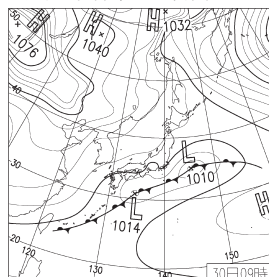
28日(木)網走で流水初日

日本の南の高気圧に覆われ沖縄や東日本で気温上昇。東シナ海で前線を伴う低気圧が発生し西から雨域広がる。北海道は冬型の気圧配置でえりも岬の最大瞬間風速26.5m/s。



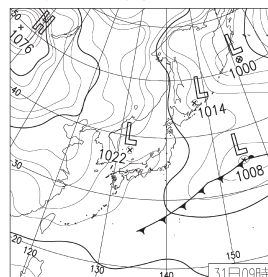
29日(金)南岸低気圧

前線を伴う低気圧が西～東日本南岸を進み沖縄～東北南部に雨雲広がり。和歌山県栗栖川119mmなど各地で日降水量が1月の1位。沖縄では5地点で最高気温高く、1月の1位。



30日(土)関東北部中心に積雪

南岸を低気圧が通過し太平洋側中心に雨雲広がる。西～東日本の気温は平年より高く雨の所多いが、関東では気温上がりず北部中心に宇都宮・前橋・水戸などで積雪。



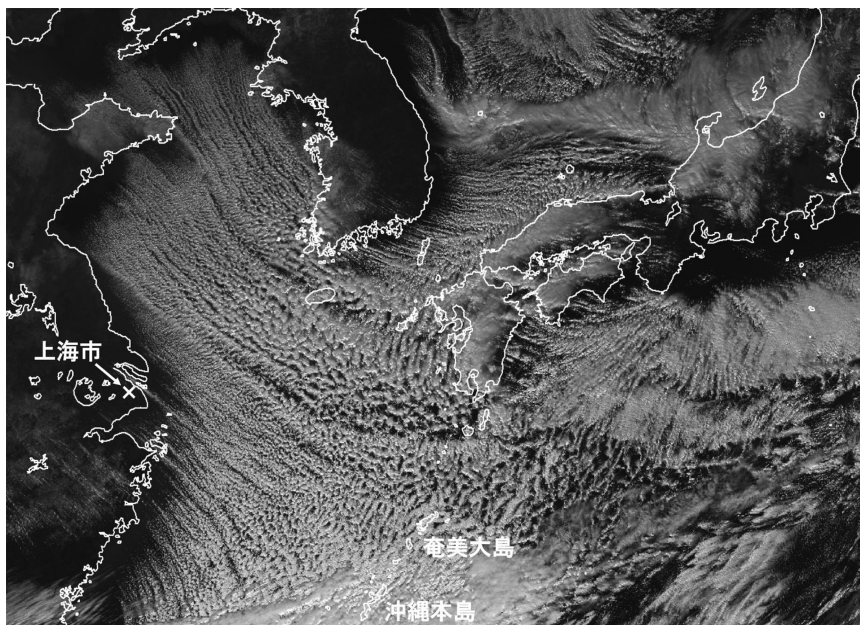
31日(日)福岡などウメ開花

本州～北海道の日本海側では曇りまたは雪や雨、その他は概ね晴れ。西～東日本では最高・最低気温とも平年より高く2月下旬～3月並み。長崎、福岡、高知でウメ開花。



今月のひまわり画像—2016年1月

名瀬に115年ぶりの雪をもたらした寒気

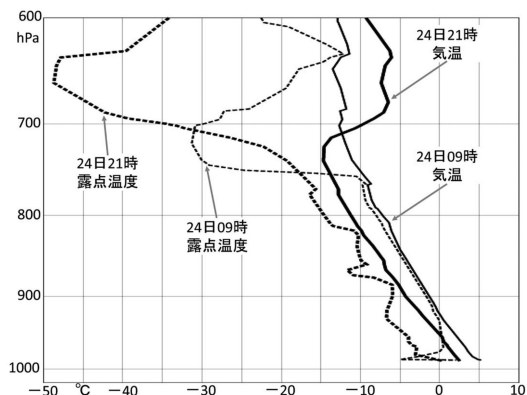


第1図 2016年1月24日13時（日本時間）の可視画像。

2016年1月23日～25日、日本付近は冬型の気圧配置となり、中・下層に強い寒気が流入したため、九州から先島諸島で記録的な低温が観測された。

第1図は24日13時（日本時間）の可視画像で、黄海から東シナ海、日本海西部には寒気による筋状の対流雲列がほぼ全域に広がっている。東シナ海でも筋状雲の離岸距離は短く、中国上海市付近の沿岸から発生していることから、今回の寒気の強さが示されている。同日21時の高層観測の850 hPaの気温は、奄美大島の名瀬で -7.4°C （統計開始1957年）、石垣島で -4.4°C （統計開始1964年）となるなど多くの地点で極値が更新された。第2図は24日09時と同日21時の名瀬のエマグラムで、強い寒気の流入により、この12時間で800 hPa付近の気温は約 5°C 低下し、対流混合層の高度は約760 hPaから約720 hPaまで上昇していた。

この強い寒気の流入により、九州を中心に大雪となり、雪による車の立往生、路面凍結による交通事故、水道管凍結による断水、航空機の欠航など社会生活へ大きな影響が出た。長崎市では24日の最深積雪が17 cm（統計開始1906年）となり、極値が更新された。また、名瀬市では、同日13時過ぎから断続的にみぞれ



第2図 2016年1月24日09時（細線）、24日21時（太線）の名瀬のエマグラム。縦軸は気圧、横軸は気温。

や雪を観測し、1896年の観測以来2回目（1回目は1901年2月12日）の雪の記録となったほか、沖縄県名護市でも24日夜にみぞれを観測し、沖縄本島では観測史上初めての降雪の観測となった。

（気象庁予報部予報課 原 基）